

島原半島ジオパーク学術研究助成奨励事業<研究結果>ホームページ公表用

No.1	日本語
<研究題目>	島原半島における地元住民ガイドの実態と今後の持続性に関する研究
<氏名・所属> 所属、氏名	東北大学 松木駿也
<要旨・概要>	<p>本研究は島原半島の観光ガイド組織や個人への聞き取り、アンケート調査をもとに、各ガイド個人の制度に対する認識や、ガイド間・組織間関係の変化から、現在のガイド制度の課題と今後の持続可能性について考察した。</p> <p>南島原市は世界遺産推薦から観光ガイド需要が高まると予想されるため、南島原ひまわり観光協会は、市内5つのボランティアガイド組織を「有馬の郷」に統合し、市内広範囲を案内可能な人材育成を画策した。ガイド範囲や内容が増加することで、各組織の中心人物など一部のガイドしか対応しきれなくなる恐れがある。</p> <p>半島3市などから構成される島原半島ジオパーク協議会では、2007年からジオガイド養成講座を毎年開講し、2012年度末に受講者などのうち試験に合格した27名を「認定ジオガイド」とした。既存ガイドや未経験者のうちジオガイドに興味があれば講座を受講、ジオガイド活動をしたければ認定試験を受けるように、各自の興味の段階に応じてジオパークに参加できる。一方で、活動経緯、背景の異なるガイドが集まっているため意識のまとまらなさがある。</p>